

新たに登録されるカンキツ「口之津20号」の特性						
[要約] 「口之津20号」は 1月以降が可食期となる，果皮が濃橙色の新しい系統である。肉質が柔軟多汁である。含核数は比較的少なく，剥皮も可能である。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成8年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

国の研究機関で育成されたカンキツ新系統の本県への適応性を明らかにする。

新系統の来歴

系統名	交配組み合わせ
	( ♀ × ♂ )
口之津20号	清見 × トロビタオレンジ

[成果の内容・特徴]

- ①果実重は150g～200gで，果径指数 100～ 110の丸みのある果実である（表1）。
- ②果皮色は濃橙色で，肉質は柔軟多汁であり，含核数は比較的少ない（表1， 2）。
- ③ 1月中旬で糖度11～12，酸含量は 1.0～1.2g/100mlである。施設栽培では酸含量の減少が早い（表2）。
- ④そうか病には強いが，かいよう病にはやや弱い（系統適応性・特性検定試験成績）。

[成果の活用面・留意点]

平成9年度に命名登録される予定である。

[具体的データ]

表1 「口之津20号」の果実及び果皮の特性

年度	栽培法	調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果			皮		
					果皮色	カラチ ヤト値 (赤道部)	粗滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮皮
1995	露地	12.20	110	135	橙	7.6	中	やや難	2.9	無
	"	1.19	-	163	橙	7.8	中	中	-	無
	ハウス	12.20	103	200	濃橙	9.3	中	中	2.9	無
	"	1.19	-	207	濃橙	10.0	中	中	-	無
1996	ハウス	12.20	-	174	濃橙	-	中	中	-	無
	"	1.20	104	172	濃橙	10.3	中	中	3.0	無

表2 「口之津20号」の果肉の特性及び品質

年度	栽培法	調査 月日	果 肉			さじょう			果 汁		
			果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	含核数	糖度	酸含量	糖酸比	
1995	露地	12.20	79.2	中	橙	軟	11.0	12.2	1.28	9.4	
	"	1.19	80.0	中	橙	軟	-	12.4	1.02	12.2	
	ハウス	12.20	79.8	中	橙	軟	9.7	10.4	0.90	11.6	
	"	1.19	74.8	中	橙	軟	-	11.5	0.96	12.0	
1996	ハウス	12.20	77.5	中	橙	軟	-	10.9	1.21	9.1	
	"	1.20	76.9	中	橙	軟	0.7	11.1	1.21	9.2	

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成8年度（平成6年～10年）

研究担当者：濱口壽幸

発表論文等：平成7年度，平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告。